

東海鉄道OB会報

第19号

平成21年10月



〔JR名古屋駅前の銀杏並木〕名古屋機関区支部 加藤 眞一

目次

OB会報誌リニューアル 愛称名は「JOBとうかい」	2
地本・支団たより	
積極的な活動が確実に成果を	
東海東海地方本部 事務局	2
会員のメリッとを	
実感出来る組織づくりを	
静岡地方本部 事務局	3
総会で呼びかけ	
支部活動に工夫をと!	
名古屋地方本部 事務局	3
総会で新地方本部長に 和泉秀郎関西開発株式会社社長が就任	
東海大阪地方本部 事務局	4
より深い会員相互の親睦を 目指し支部総会開催	
中村支部 水台成一	4
魅力ある支部を!	
総会で多彩な行事を承認	
沼津支部 一見高大	5
みんなで健康で楽しく マレットゴルフ大会を開催	
豊田支部 渡辺敏郎	5
JR東海トビックス	6
読者のひろば	12
駅探訪「会報への寄稿、 文芸欄への投稿」要領・編集後記	20

地本・支部だより

積極的な活動が 確実に成果を

東海東京地方本部 事務局



▲積極的な活動と…今村地方本部長

東海東京地方本部の二十一年度の総会を、七月二十九日、日本橋OICビル十八F・サリココバンで開催しました。

初めに、今村地方本部長から会員の皆様へ、日頃の活動への感謝と現在の状況及び今後の活性化への取り組み等の挨拶がありました。

続いて久野事務局長から二十年度の活動、収支決算報告を行うとともに、二十一年度の活動方針(案)、予算(案)を提案し、審議した結果原案通り承認されました。

前年度の活動報告では、新しい活動の試みとして、在宅会員には、会報と一緒に情報として、JF東海社内誌「おれんじ」の記事や、グループ会社の商品、旅行パンフ等を同封し郵送したこと。

地本として初めてレクリエーションを開催し、十四組のご夫婦を含む計八十五名が参加した「はとバス東京遊覧」を実施し大成功を収めたこと。

また、会員増強では、毎月JF退職者を対象に加入を勧め、会員数を二百七十八名から三百四十七名まで伸ばし、OB会本部から会員増強で団体表彰を受賞する等、地本の積極的な活動が結果としていえることを報告しました。

また、今年度の活動については、総会に先立って開催した、地方本部役員会で、昨年の「はとバス東京遊覧」が大変な話題となり、今年も是非との熱い要望が出ていたため、それに応えて今年度は、増取協力も考え、JF東海ツアーズを利用して、九月二十六日(土)に「横浜方面」への計画を立てています。その他にゴルフ大会等も計画し、楽しく集えるOB会を目指すことにしました。

総会后、懇親会を開催し、来賓としてJF東海から常務取締役吉川直利、新幹線鉄道事業本部長をはじめ、長田豊副本部長ら多数の幹部の方々に出会い、ただくなど、総勢六十七名の皆さんで会員間の旧

OB会報誌リニューアル 愛称名は「PROBYOUかい」

東海鉄道OB会報は、皆さんに親しまれて、発行から四年が経過しました。

昨年、皆さんへアンケート調査を実施したところ、会報について「紙質が良すぎる」「内容が硬い」「事務的」等々、数多くの意見をいただきました。

そこで、会報編集係では、会報プロジェクトを発足させ、種々の問題に取り組み、まず出来ることから始めようとし、紙質を落としたり、文字の変更を実施しました。

中でも、会報の「愛称名」については、広く皆さんから募集したところ、数多くの「愛称名」を寄せただけで、有難うございました。しかし集約したところ、皆さんそれぞれに意見が大きく分かれ、応募の中から決定することは出来ませんでした。このため、会報プロで検討した結果、一目見て親しみがあり、温かみがあるように感じてもらうよう、「愛称名は「JFOB」とうか」としました。

また、来年一月号からは会報誌をオールカラーにし、掲載する内容も順次、写真を多く使い、読み易く、家族で親しんでもらうことに努め、今までのイメージを払拭することにしました。

会報誌は、会員の皆様の手で作上げていくものです。ぜひ、皆様と一緒に、ますます愛される会報誌を目指して行きたいと考えています。

なお、「愛称名」に応募していただいた方の中から、抽選で次の方々に粗品をお送りしました。(敬称略)

三島支部 山田 英一
富士支部 阪野 元明
浜松支部 鈴木 省吾
尾北支部 長瀬 金興
美奈木支部 日高 浩男

交、新交を温めるとともに、J R東海の方々の話を耳を傾け充実した時を過ごし幕を閉じました。今後も、東海東京地方本部はもつと活動の輪を広げ、J R東海及びJ Rグループ各社の発展と、会員の親睦、福祉の増進に貢献し、会員の心豊かで充実した生活に、寄与できる活動に取り組んでいきたいと思っています。

会員のメリットを 実感出来る組織づくりを

静岡地方本部 事務局



▲魅力ある組織にと…小尾地方本部長

五月二十五日十時三十分から、静岡地方本部総会が、静岡駅南口東海軒会館において、二十六支部長、事務局長等五十三名の出席を得て開催した。

まず、物故者二百四十五名の方々に黙祷を捧げ、続いて小尾地方本部長が「会員数の減少に危機感を持っている。これには現職社員の減少や定年延長等の要素もあるが、未加入者が多いのも事実である。」

この人達が入会に魅力を感じるような活動をやる必要がある。今後「ムラクター」を活用し、メリットを実感出来る組織づくりに、皆さんと一緒に努力していきたい。」と挨拶された。

来賓として、J R東海常務執行役員中山理静岡支社長、西沢管理部長、坂口静岡駅長等皆様の臨席を戴いた。

来賓を代表して、中山静岡支社長から「平成二十年度後半以降の景気悪化を受け、今年度も厳しい経営環境が見込まれるが、鉄道の安全に対する信頼は損なわれていない。これらは、先輩の皆さんが永年築いてきた、安全への取り組みが生きているもので、今後も安全・安定輸送を最優先に質の高いサービスを提供していく。これからも、社員とOBの皆さんが、互いに手を携え鉄道輸送を守ってほしい。」と話された。

続いて、平成二十一年度の基本方針として、従来のものに加えて特に、インストラクターの活用で、活動の多様化に伴うグループ作りを活性化し、入会のメリットを実感出来る組織にする。また今年度は百七十五名の旅行会を開催するための予算を説明し承認された。

その後、懇談会に入り日頃のOB会活動の状況や年金・福祉、近づく総選挙等について和やかに歓談し盛會裡に散会した。

総会で呼びかけ 支部活動に工夫をと!

名古屋地方本部 事務局

名古屋地方本部は、平成二十一年度表彰式及び

東海鉄道OB会 支部表彰式・総会



▲支部活動に工夫を…平井地方本部長

総会を、六月十二日名古屋通信会館で開催しました。

表彰式及び総会には、来賓としてJ R東海の高橋伸万東海鉄道事業本部管理部総務課長、東海鉄道OB会本部から中川博行専務理事、野田会計監査員をお招きし、地方本部からは平井地方本部長をはじめ各支部長及び地方本部長表彰八名の受賞者等四十五名が出席されました。

表彰式では、平井本部長から受賞者八名に対して「一人ひとりに表彰状と副賞金を手渡ししました。平井地方本部長から受賞者に対して「これからも、ますます素晴らしい人生を送って、OB会に寄与して下さい。」と激励されました。

また、J R東海の高橋総務課長は「J R東海は、一〇〇年に一度の不況の中、昨年度は日本車輛製造(株)を子会社化し、新横浜にホテルを立ち上げる等ますますでしたが、今年度に入ってから不況や新型インフルエンザの影響で新幹線の輸送量が大きく落ち込み、取り巻く環境が厳しくなる中、J R東海グループ内で利用するバイセッショナル運動、経費の節減を推進しています。このような状況の中でも、

在来線は安全輸送を最重要に位置付けて安全、安定輸送に取組んでいます。

OB会の皆様には、さわやかウォーキングのお手伝い或いは増収にと多大なご協力をいただきありがとうございますと述べられました。

総会で平井地方本部長は、「会員の減少が続いているが、退会者が多いのが問題で、OB会に入ってもメリットがないと言われているが、OB会活動に魅力が足りないのではないかと。地本の総会も含めて面白いものにしていく工夫が必要です。また、今新たに専任社員にアプローチして組織の拡大に努力しています」と各支部長に呼びかけました。

議事の中では、各支部長から活発な意見が多く出され審議を尽くした結果、平成二十一年度の事業報告、決算、平成二十一年度の基本方針(案)、予算(案)が原案通り承認され、新しい年度の取り組みが明確になりました。



▲表彰状を受ける三河支部 鈴木 賢会員

総会で新地方本部長に 和泉秀郎関西開発㈱社長が就任

東海大阪地方本部 事務局

平成二十一年度の東海大阪地方本部の総会を、七月二十九日(ニューオオサカホテルで、片山地方本部長はじめ吉岡事務局長、四支部長等五十一名の参加を得て開催しました。

鉄道OB会 本部第5回総会



▲和泉新東海大阪地方本部長の挨拶

冒頭、片山地方本部長から「当地方本部は、前年度の会員数の推移を見ると、残念ながら若干減少している状況となっているが、しかし、各支部等の協力のおかげで、四月一日現在、会員数は二百一十名となっている。このため、各支部では支部主催のゴルフ大会及び菊作り講習会を定期的に開催するとともに、今年初めて第一回の魚釣り大会を開催する等、レクリエーション活動を積極的にを行い、支部の活性化を図りたい」と、また、会員の確保に協力いただきたいこと等に対して、支部の皆さんに感謝の言葉がありました。

その後議事に入り、吉岡事務局長から「二十一年度の活動報告、収支決算を報告し承認されました。続いて平成二十一年度の活動重点目標(案)、予算(案)を

説明し、承認されました。さらに、片山地方本部長退任に伴う地方本部長選任の件については、和泉秀郎J/R東海関西開発㈱代表取締役社長が、新たに東海大阪地方本部長に選任されました。

続いて懇談会に移り、来賓としてJ/R東海から執行役員工藤関西支社長、長崎総務部総務課長をはじめ関西支社本部長及びOB会本部から平井東海鉄道OB会副会長、また法人会員の代表等の方々に参加して戴き、OB会員との会話を楽しみ、あらためて旧交を深める総会となりました。

より深い会員相互の親睦を 目指し支部総会開催

中村 節 水谷 成一

六月十三日(一)時三十分から、名駅近くの「のみよし旅館」で、中村支部総会を開催しました。総会には、会員数四十四名中十三名が出席、少々淋しい気もしますが平均年齢七十九歳の集団としては、止むを得ないかもしれませぬ。

丸岡支部長の挨拶の後、支部長から長寿会員に対して表彰を行い、続いて審議に入り二十一年度の事業報告、決算報告、二十一年度の予算(案)、会員相互の親睦を基本とする事業計画(案)を全員一致で承認しました。

出席者は少数ながら、支部の統廃合の見通し、将来の支部の在り方等について活発な意見が交わされ、また、この場を通して、会員相互のより深い親睦が図れ、有意義な時間を過ごしました。

最後は、新規会員の首頭で締めくくり総会を終えました。

魅力ある支部を！

総会で多彩な行事を承認

近隣支部 一見高大

平成二十一年度の定期総会を、五月二十二日泊津市大手町会館で開催しました。

総会には、来賓として坂本参議院議員、栗原泊津市長、JR東海から太田泊津駅長、徳部泊津運輸区長、地方本部から小尾本部長等をお迎えすることにも、会員七十名(内女性会員十六名)が出席しました。

総会では、物故者に対する黙祷、役員功労表彰、賀詞の授与、叙勲の披露等を行いました。

また、今年度の事業計画では、ますます魅力ある支部を目指して、次の項目で取り組むこととしました。



▲賀詞を受ける飯田 清会員

(一) S.L保守作業とS.L説明会

地元、高沢公園の「桜まつり」に合わせ、今年度は保守作業を年三回実施

また、S.L説明会は、昨年からはじめたもので、地元子供会へS.L設置の経緯、S.Lの動く仕組み等今年は紙芝居で分かり易くし、十月に開催

(二) 近隣支部との交流

近隣の御殿場、堀野、三島、原の各支部と、相互に総会に出席し交流を図る

各支部のゴルフ等、各行事に参加し合ってより親密に連携を深める

(三) 親睦会の開催

グラウンドゴルフとカラオケで会員相互の親睦会開催

(四) カレンダーの配付

今年も会員全員に配付

議事終了後の懇親会では、講話聴き地元で活躍している「工城流会」の代表ほか一名が公演されました。また最後は、全員で福引き抽選会を行うなど、楽しくて意義ある総会を終えました。

みんなで健康で楽しく
マレットゴルフ大会を開催

東部支部 渡辺敬郎

当支部では、全員が楽しく健康に役立つようにと、皆さんには馴染みが薄いかも知れませんが、昨年三月からトレオゴルフを、また今年三月から新たにマレットゴルフを始め、両方とも多数の参加者で賑わっています。

マレットゴルフも会を重ねることに愛好者が増え、今回は六月十五日、武並ゴルフ場で男性十名、女性三名の参加者で開催しました。

会場は、涼しい林の中で、マレットゴルフが可能な



▲マレットゴルフを楽しむ参加者

姿を見せている「ささゆり」が、出迎えていました。あちこちから「すこーい」「ああ残念」おしかったなあ」等悲喜こももその声が聞こえてきました。日頃は、こんな大きな声を出す事はありませんが、みんな重んじにかえり、楽しいひと時を過ごす事が出来ました。健康のためにも是非参加をと呼びかけています。

上位入賞者は次の方々です。(敬称略)

優勝 加藤 保

準優勝 細江 利明

第三位 安藤 忠昭

また、三月二十日には、十六回目を数えたトレオゴルフ大会を、恵那峡パークカントリーで開催する等、支部の多彩な活動を積極的にに行い、会員の輪を広げ、OBになった楽しさをお互い満喫しようという努力をしています。

JR東海ト

ピックス

総合企画本部

多くの方に愛される博物館を目指して

JR東海博物館(仮称) 展示概要を決定

当社は、JR東海博物館(仮称)の建設にあたり名古屋市と用地の無償貸付契約を締結したことから7月13日に名古屋市公館において調印式を行い、当社と名古屋市が協働に向けて建設工事等の円滑な実施を図ること、開館後についても地域活性化に資するよう、相互に連携・協力していくことを確認しました。

また、展示概要も決定し7月24日に公表しました。展示車両としては、超電導リニア方式よりの世界最高速度を記録した超電導リニア車両MLX01や歴代の新幹線車両、鉄車輪系で国内最高速度を記録した300X、狭軌鉄道の蒸気機関車で世界最高速度を記録したC62の他、在来線を含む36両の実物車両を展示し、在来線から東海道新幹線を経て次世代のリニアへと続く「高速鉄道技術の進歩」を紹介します。

あわせて、子供から大人までが楽しめる各種シミュレータや日本最大面積のジオラマ、シアター等を設ける他、鉄道やリニアのしくみ、歴史などについて親

JR東海の社内誌「おれんじ」7月〜9月号の記事を抜粋して掲載しています。



▲調印式の様子

子が一緒に体験しながら楽しく理解していただける展示コーナーを設置します。

平成23年春の開業に向け、多くの方に愛される、世界に類例のない博物館の建設を目指します。



▲JR東海博物館(仮称)内観イメージ



▲N700系運転シミュレータ



▲ジオラマ



▲リニア展示



▲体験展示

◆ JR東海トピックス ◆

新幹線鉄道事業本部
関西支社

検査精度と車両品質のさらなる向上を目指し

新幹線車両所の組織改正

7月1日、東京地区及び大阪地区の新幹線車両所の組織改正が行われ、東京地区では東京仕業検査車両所、東京修繕車両所、東京交番検査車両所、大阪修繕車両所、大阪仕業検査車両所、大阪交番検査車両所、大阪修繕車両所が発足しました。東京、大阪の各地区では開所式が行われ、新たな車両所の門出を祝うとともに、安全・安定輸送の確保に向けて決意を新たにしました。

組織改正は、組織の専門性を高めた検査体制による検査精度と車両品質のさらなる向上を目的とし、各検査・業務ごとに独立した業務別組織に改正するものです。また、修繕業務の専門性をより向上させるため、修繕関係業務を独立させました。

これにあわせて、東京地区については現業事務所等の集約・再配置を行い、列車当直や検査当直をはじめとした各パートの移転を無事完了させました。また、大阪地区については、建物朽化に

伴い現業事務所等を集約・統合する建替を進めており、大阪修繕車両所では新しい事務所棟の使用を開始し、今後大阪台車検査車両所、大阪仕業検査車両所と順次移転する予定です。

今回の組織改正により、各々の車両所が、より一気感を持ち、専門分野についてさらに深く掘り下げられるようになります。このメリットを最大限活かす。新幹線車両検査のさらなるレベルアップを図ってまいります。

開所式
東京仕業検査車両所
東京修繕車両所
東京交番検査車両所
平成21年7月1日

▲東京地区の開所式の様子



祝 2009年7月 組織改正完了

▲大阪地区の開所式の様子

事業推進本部

「安全・安心」な農作物の栽培・供給に向けて

農業事業への取り組み

JR東海グループでは、「安全・安心」な農作物を自ら栽培し、「食の安全」に對するお客さまのご要望にお応えすることを旨として、農業事業への取り組みを進めています。

ジェイアール東海商事は、愛知県常滑市内の農地約8,000㎡を借り受け、水耕栽培などの施設型栽培により、レタス、トマトなどを栽培する予定です。5月20日に安全祈願祭を行い、ハウスなど栽培施設の建設を開始しました。9月末には施設が完成し、試験栽培などを経て、平成21年度中に商業ハウスでの栽培を開始する予定です。

また、「チャオ御仏スノーリン」(以下、チャオ)を運営する飛騨森林都市企画(株)も、グレンテ近くの農地約5,300㎡を借り受け、岐阜県高山市高根地域の特産品である高糖度とうもろこし「タカネコーン」の栽培を開始しました。8月に蒔いた種は、順調に育っており、8月末には初めての収穫を迎える予定です。栽培初年度となる本年は約5,000本の収穫を見込んでいます。現在、チャオのホームページ(<http://www.chaoco.jp>)で、予約販売の注文を受け付けています。皆さまからのご注文をお待ちいたしております。

今後とも「安全・安心」な生産物を安定的に出荷できるように、引き続き積極的に取り組んでいきます。

▲農業施設工事 安全祈願祭の様子
(ジェイアール東海商事)▲社員による農作業の様子
(飛騨森林都市企画)

◆ JR東海トピックス ◆



▲オープン記念式典におけるテープカットの様子



▲完成した新幹線改札口

6月1日、米原駅自由通路から直接東海道新幹線に利用いただける改札口が完成し、オープン記念式典を行いました。米原駅自由通路化事業は、米原市より平成8年頃から当社とJR西日本に要望があり、それを受けて協議が開始され、自由通路は今年の3月2日に完成しました。

また、駅設備の改良は、エレベーターや多目的トイレなどバリアフリー設備の整備、内動や営業助役室、休憩室など業務施設の集約化も実施し、お客様サービスの上向きや日々の業務の円滑化が図られるようになりました。

オープン記念式典では、来賓として米原市長、JR西日本米原駅長をお迎えし、工藤関西支社長他3名でテープカットを行いました。新幹線専用改札口、出入口、ATVが新設され、明るいうェルカムゲートをお客さまをお迎えすることになった米原駅となり、地元はもとより多くのお客さまに愛される駅でありつづけるよう、今後も絶対の安全の確保とブランドクリエイティブの推進に努めていきます。

関西支社

サービス向上と業務の円滑化を図る

米原駅リニューアルオープン

JR東海硬式野球クラブ

日本一を目指し

硬式野球クラブ新監督就任

JR東海硬式野球クラブは、都市対抗予選終了後の8月に小栗洋一郎新監督(総務部総務課)が就任し、社員と家族が誇りに感じるチームづくりを目指す。

し、チーム力の強化に取り組んでいます。新生・野球クラブの活躍にご期待ください。



- 入社 昭和63年
- 年齢 44才
- 出身高校 美濃加茂高校
- 出身大学 九州東海大学
- 現役時代のポジション 外野手

日頃より硬式野球クラブに対し多大なご支援、ご声援を賜りましてありがとうございます。

8月よりJR東海硬式野球クラブの監督に就任しました小栗です。

都市対抗予選の悔しさを糧に、10月の日本選手権予選に向けて厳しい練習に取り組んでいます。

東京、大阪両チームに出場するだけでなく、我々が目標とする「日本一」を目指し、チーム一丸となって戦っていきたいと思います。

今後とも、ご声援よろしくお願いたします。

◆ JR 東海トピックス ◆



▲「東京ラーメンストリート」リニューアル開業

今回は第1期として、行列のできることで有名な「六厘舎TOKYO」をはじめ、駒沢の塩専門ひるがお、高田馬場の二代目「けいすけ 海老そば外伝」、ラームンむつみ屋といった各種ラーメンランキングにおいて上位に位置する、今話題のラーメン店4店舗が東京駅

東京駅一番街では、「東京キャラクターストリート」、「おみやげプラザ」に続く新名所の第3弾として、今話題のラーメン店が集結した「東京ラーメンストリート」が6月17日にオープンしました。オープン当日には大勢のお客さまにお越しいただき、各店舗とも大混雑となりました。

事業推進本部

話題のラーメン店が東京駅に集結

「東京ラーメンストリート」オープン

に集合、平成23年には、さらに4店舗が加わり、計8店舗となる予定です。

東海道新幹線八重洲中央南口改札から地下1階へ降りたところに位置し、11時から22時30分まで東京の有名ラーメン店の味をお楽しみいただけますので、東京駅へお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



▲大人気「ごちまつめん」は、お土産にも



▲東京駅限定！極上スープの「伊勢海老そば」



▲大型書店「谷島屋」



▲生活雑貨専門店「ロフト」



▲1階北口の壁面緑化

浜松駅にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

の集客も可能としました。また、1階北口付近に、最新技術の保水スポンジを使用して30種類の草花を飾り、壁面グラフィックとも言える豊かな壁面緑化をしました。

この春、浜松ビル「メイワンの上層階（6～8階）」がリニューアルオープンしました。まず3月6日、8階に知と情報の空中小まつりを実施しました。

事業推進本部

浜松ビル「メイワン」

上層階リニューアルオープン！

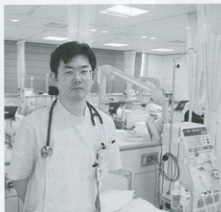
庭園をコンセプトとした書店「谷島屋」がオープンしました。売り場面積・蔵書数ともに静岡県内最大で、圧倒的な品揃えを誇ります。また、併設されたブックカフェで購入の本をご覧いただけることも話題となっています。

同日、7階レストランフロアにおいても、中華ファミリレストランが新しく加わる等、全面リニューアルしました。続いて4月には6階の雑貨店舗がリニューアルし、5月15日には生活雑貨専門店「ロフト」がオープンしました。コンパクト型店舗として、日々「暮らし」にこだわる女性のための生活雑貨を中心に、旬の雑貨を展開しています。



「たんぱく尿、血尿」に注意しましょう

名古屋セントラル病院
腎臓内科副医長 八島章人



◎腎臓=沈黙の臓器 一早期発見には尿・血液検査を一

腎臓は「沈黙の臓器」と呼ばれているように、腎臓の病気はかなり進行しないと症状が現れず、自覚症状が現れた時には治療が困難な状況に陥っている場合が多々あります。また、自覚症状が、体のむくみや食欲不振といった、他の病気でも見られるものであるため、症状から腎臓の病気を見つけることはなかなか難しいものがあります。

そのような腎臓の病気の早期発見には、比較的早期から腎臓の病気について異常を示す尿検査や血液検査が有効です。ところが、尿検査や血液検査の結果は、高血圧や肝臓の機能の異常など、他の検査結果に比べるとあまり関心を寄せられず、とまると放置されてしまいがちです。

そこで今回は、尿検査に関連する「たんぱく尿」と「血尿」について書かせていただきます。

◎「たんぱく尿」と「血尿」

たんぱく尿とは、尿の中にたんぱく質が漏れ出ているものをいいます。ただ、健康な人でも微量のたんぱく質が尿中に排泄されています。また、激しい運動の後や、風邪などで熱が高い時、起立や前かがみの姿勢をとった時などにもたんぱく尿が出る場合があります。けれども、これらの場合は一過性であり、問題のないたんぱく尿であるとされています。

一方、何度検査しても陽性と判定される持続性のたんぱく尿は注意しなければなりません。なぜならば、腎炎といわれる腎臓の炎症、糖尿病、膠原病、高血圧に由来するもの、その他様々な腎臓病である可能性があるからです。これらの可能性として考えられる病気の中には、放置すると次第に腎臓の働きが落ちていってしまうものがあります。そして、そのような病気を放置していた場合、腎臓の機能回復が難しく、生涯にわたる「血液透析」が必要となるケースがあります。血液透析とは、簡単にいうと、装置を用いて腎臓の機能を代行することです。

血尿は、「目で見て尿が赤い、茶色っぽい」肉眼的血尿と、「目で見てわからない」顕微鏡的血尿にわかれ、ひどい腎炎の場合には、病態の程度に応じて血尿の度合いも高くなってきます。「腎生検」(下の項目を参照)は、そのような場合に適応となります。

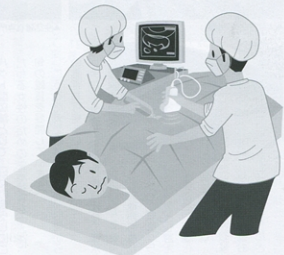
◎腎臓の検査「蓄尿検査」、「腎生検」

腎臓内科では、自宅で丸1日、指定の容器に尿をためていただく「蓄尿検査」を行っています。これにより、尿中に排泄される1日あたりのたんぱく質の量を測定します。必要に応じて、腎臓病の診断をつけるために「腎生検」という検査を勧めています。これは、腎臓を細い針で刺して組織の一部を採取し、それを顕微鏡で見るものです。

繰り返しになりますが、自覚症状が現れにくい腎臓病は、尿検査や血液検査などによる早期発見がとても重要になってきます。ですので、尿の異常は放置せずに、名古屋セントラル病院をはじめとした専門医のいる病院にかかるようお勧めします。



▲当院で採用している蓄尿器



▲腎生検



11月1日、閉園。

さあ、行こう！
感動のクライマックスが、
ここにある。



いよいよ、フィナーレ！

佐久間レールパーク 車輛展示



18年間ありがとう。

佐久間レールパーク 記念イベント 11/1(日)まで

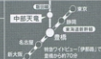
閉園日：11/1までの土日祝

貴重な鉄道資料や模型ジオラマの展示、電車運転シミュレータ体験など、楽しく学べる鉄道博物館「佐久間レールパーク」は、2009年11月1日(日)に閉園いたします。18年間の感謝をこめて、各種記念イベントを開催いたします。なお2011年春には、名古屋市にJR東海博物館(仮称)がオープン予定です。



佐久間レールパーク(豊田線中部天竜駅構内)

- 開園日：11/1までの土・日・祝日
- 開園時間：10:00～16:00(ただし入園は15:30まで)
- 入場料：100円(中学生以下は半額)。または別途定める乗車券類を所持の方は無料。この他の方は入場券(おとな140円、こども70円)が必要です。



駐車場の用意はありませんので、佐久間レールパークへはJRをご利用ください。

読者のひろば

復員のころ

岐阜支部 奥村元士

新聞の日曜サンデー版一面に「戦後の引揚げ」について図を加えて詳細に説明していた。

私も復員者の一人だから興味深く見ている。引揚げ港は函館から鹿児島まで十一カ所あり、博多港や佐世保港の各々百三十九万人余りを最高に、和歌山県田辺港の二十二万人余りまでの受け入れとなっている。

私の上陸した山口県仙崎港（現長門市）は、四十一万三千九百六十一人となっている。私はこの中に含まれているが、最後の一人という半端な人数に変な興味をもった。私が復員していなければ最後が〇となっていたはずだと思えるからである。

仙崎へは、洲島の葫蘆島、上海、釜山からとされており、上海からの復員である私や、同時に別船で上陸していた朝鮮からの若者のままの同情すべく引揚者もいたから、極めて正確な表である。

この表を見て当時の感激が鮮明に蘇ってきた。我々の乗船した米軍貨物の「LST」が島々をかすめて港に近づくとつれ、イルカの大群が歓迎するかのようになぞっているのが見られた。

上陸するや、どっかい豪州兵の検問をつけてDPTを頭からぶっつけられた。この効果はてきめん、帰宅してみたら着慣れた兵員服にシラミの残骸がびっしりには一驚した。

外へ出ると、出迎えの港の人々が、内地では当時貴重品の最たる銀メシの大きなおにぎりを手渡されたのには、涙の眼もあふれた。さらに正明市駅（現長門市駅）まで、荷物を多数の大八車で運搬してくる。敗残の兵たる我々に、こんな手厚い歓迎とはたまただ感動するのみであった。今でも仙崎方面に足を向けると寝られない想いがあふれる。

昭和二十一年四月、復員して直ちに元の職場へ復帰。懐かしい顔顔を再会出来たが、帰らぬ先輩、同僚もいて戦争の残酷さを知ることとなった。もっとも職場は、戦中までの雰囲気とはガラリと変わり、平和を謳歌し急に転がり込んだ民主主義にとまどう日々がしばらく続くこととなった。

兵どもの夢の跡

長崎支部 杉山安秀

私は老いてゆく定どりで、忘れえない思い出の地を訪れました。勿論、そこには兵舎の姿はなく、記念碑が建てられています。

記念碑を背にして佇んでいると、軍靴の音や、戦場に送られる兵の緊張した表情など、当時の出来事が次々と幻影のように浮かび上がります。そして戦友と共に元気に唄った歌が、ひとりに出てきて口ずさみました。（勝つてくるぞと勇ましく、誓って国をでたからは…）

私は敗戦の危機迫った昭和十九年に、陸軍二等兵として中国の戦線に送られました。

戦場とはいえ、物資の補給はなかり飢えとの戦いに戦闘能力を失せて、祖国に戻れぬ絶望感と、戦況への無力感に脱走兵も出て、祖国を立つ時は皇軍の誇りを抱いていたが、半年も経たぬうちに路奪をするなど地獄を生き抜く野獣の集団となってしまいました。

作戦本部は、現状を無視して信陽、遼河、丘洲と広大な大陸を将棋の駒を動かすように、我々に命令を下し、兵は如何なる宿命にも従って、死の行軍に追いやられました。本土決戦に備えてか？南京まで反転して来た時は初めて一息ついた思いでした。

南京城の城壁には、白ペンキで宣伝文が「日本は領土的野心はなく、願っているのは平和と友好である」と大書きしてありました。

終戦を知らされたのは、南京に駐屯していた時でした。この日は誰でもが「ホッ」とし、誰もがこの先の不安を抱きました。

私の体は、栄養失調の状態で捕虜の身となりましたが、体力の限界に落ち込み、望郷の念も焦がされて、悶々たる日々でした。捕虜生活を耐え忍び、夢に見た祖国の土を三年目にして幸運に踏むことが出来ました。

第二次世界大戦において、日本人だけで三百十万人の犠牲者を出したと言われています。中国を初め計り知れない被害を与えました。

戦後六十年が経ちました。未だに、日中間際において、どけを抱えたままの歴史認識不足が存在して残念ではありません。

南京での三十万人の大虐殺（中国側主張）、戦犯合詞の靖国神社問題、慰安婦問題等被害国民に対して感情を逆なでする行為や曖昧な対応に終始す

ることは、島国根性から発せられる体質が?と嘆くばかりです。

捕虜の生活中に中国の新聞を見ましたが「日本軍は撤退するが、十年後また攻めてくる」との記事を見て、日本軍の犯した戦争の傷跡の如何に根深いかを知りました。

日本は、明治の時代に入り脱亜入欧、富国強兵、廃仏棄釈の歴史の一つひとつ歯車が進み、軍部の暴走を悲しむばかりです。

この記念碑を仰ぎ見る時、一体あの戦争はなにであったのか?と考えさせられます。

この記念碑が、日中友好の礎となり子々孫々に至るまで、平和の大切さを伝える兵どもの足跡であって欲しいと折るばかりです。

軍刀を職場に隠して

岐阜工車局支部 己桁英二

昭和二十年四月、陸軍中尉だった私の叔父は沖繩で戦死した。

遠州・掛川の祖父は、独身のまま死んだ息子に不憫に思って、次男の私を後継者にした。當時は、家系という觀念が強かったのである。

祖父も亡くなり、その話は自然消滅したと思っていた。それから四十年、八十歳を過ぎボケが始まった父が、叔父さんの位牌と遺影を、私に持って行って祀ってくれと言出した。

最初は、適当にあしらっていたが、とうとう根負けして家に持って帰った。叔父さんの存在を知らない妻は、猛反対したがなんと説得して、仏壇など無いので床の間に安置した。時々夫婦喧嘩の

種となつて、一年位経つたときとんでもない難題が持ち上がった。

私の兄が病没して、ボケがひどくなった父が、今度は叔父の遺品の軍刀を持って行けと言出した。そんな物は持って行けなと言ったが、聞き入れる相手ではない。押し問答の末、とうとう大きな風呂敷に包んで持たされてしまった。

家を持って帰れば、大騒動になるのは必至だ。第一銃刀類不法所持になつてしまう。帰りの車中で妙案が浮かんだ。「そうだ、職場の中に置けばよい」と日曜日であったので工車局に立ち寄った。誰もいない部屋で軍刀を抜いてみた。白い光を放つた刀身はすっしりと重く、剣道の竹刀の比ではない。とりあえずロッカーのなかに隠した。

翌日は、早く出勤して布製のゴルフ練習用のバックに納めた。課長の私は、一般職員とは並んである。当時は国鉄民営化を控えて、穏健であった工車局も職場の空気は騒然としていた。

若いN補佐はともかく、ベテランのI補佐には細心の注意が必要だ。それからは、朝出勤するとロッカーの中の軍刀を確認するのが日課になつた。

それから六か月、国鉄改革により私は「戦力外通告」を受けた。幸か不幸か父のボケは進行して気がつかないで位牌、遺影とともに父に内緒で持ち帰り、兄嫁さんと二人で例の軍刀は天井裏に隠した。

あれから二十余年の歳月は過ぎ、父も亡くなり叔父さんの霊は、安らかに故郷で眠っている。その後、軍刀は甥の手によって当局に届けられた。そして工車局は消えてなくなり、跡地は神社と喫茶店になつてしまった。

八十歳になつての 反省と欲望

藤枝支部 戸田速雄

定年で退職を迎え、年金生活に入った始めのころは、これまでの様に、毎日働きに出なくても、金額の多寡は別として給金が貰えて過ごせる生活に感謝の毎日であった。

その有難さは何時しか薄れ年金生活のリズムにも慣れる頃になると、訪れてくるのは、体のいろいろな部分での痛みと故障が、次から次へとやって来る。

同時に、将来への心配と気弱さ淋しさ、何をやるにしても己の前後を取り巻き始めて来る。

並行するように、頭に浮かんでくる事は、過去への振り返りである。「美しき追憶は心の故郷」と言われる。その時その時の思い出が出てくる。思い出される昔の事柄は皆懐かし、思うように動けない自分を其処に置き込んで、その思い出に浸る機会が多くなつて来る。その度に鏡を見ては年をとつたとつくづく思う。

八十歳の大台に乗ると、更に重なる様に続いて来るのは、後に残された時間はどの位有るのかとか「俺はどんな生き方をしてきたのか」と己を振り返り反省の様な面と、将来を見据えて何かいきていた証を残したいと思う気持ちが生まれてくる。

出来る事は殆ど無いと解つていても、残された時間が気になり、変な焦りに包まれ実行し解決して来る。この流れは、自分で計画し実行し解決し、其の実績の積み重ねで生きて来た多くの自営業の人達と違い、私のように国鉄という企業の中で、同

じ方向に向かった仲間の中で、教え教えられ、声を掛け合える等、周り全てが頼れる味方の多い居心地の良い世界で過ごして来た。自立心の少なかった者の辿る道なのかも知れない。

結局は、自分を必要とされ、抱きとってくれる世界が欲しかった。我儘な年寄りの今日この頃である。

ソフト(軟式)テニスの思い出

飯田支部 松下元義

私が、伊那電気鉄道に入社したのは、昭和十年四月三日、高等科卒業十五歳の時、日給四十五銭を支給する伊那川路駅手を命ずることでした。

駅の構内に一面のテニスコートがあった、殆ど使っていない荒れて草ぼうぼう。気の合った方達と少しずつ手入れして、何日もかけて立派なコートに仕上げました。

それが私のテニスの始まり、七十年間もの長い間、お世話になつては思っていないが、駅に良い先輩もいて恵まれた環境でした。

当時は何処の会社、事業所等も健康保持のためにレクリエーションとして奨励しており、年二回くらい大会が行われ、駅の仕事を終わるというものでコートで練習しました。その中、誰とはなしに同志が集まってきて、何十人も来て楽しむようになってきました。入会費不要、ラケットとボールの心配だけでした。

三年後、車掌試験に合格して当時の赤穂駅(現駒ヶ根)の車掌区、通勤に時間がかるので宿舎に入居、二年位寮にいました。この間、非番日には練習、又地方開催のテニス大会に必ず参加しました。

昭和十五年徴兵、十一月七日宇都宮大隊へ入營、それで会社は、休職となり北支から満州へ、そして終戦(奉天)を迎え、シベリア捕虜で炭鉱へ、石炭掘り活役三年、昭和二十一年七月三日復員、徴兵から捕虜生活の八年間の口息はやはり人生に悔を残した。そして徴兵の間、音信不通で何も情報はなく、当時国鉄移管のことも知るよしもなく、現職に戻るのに再試験をし、静鉄局に就職した。しかし考えればよく命があったものだと考えています。

その後、静鉄局のレクリエーションに毎年二回一〇名余りで参加し、三、四回優勝した。また三回(四十五歳以上)で何回も優勝した。

現役時、静岡、名古屋、金沢、長野、四局の予選で勝った若い選手一〇名位各局から引率、監督として、各地方大会に出場、新潟へ引率して中部プロックが全国優勝した思い出があります。

退職後、各地区の大会に殆ど出場していません。国鉄OB全国大会、四回で開催の十一回大会、また十四回大会長浜コート(平成五年六月十六日)でリーグ戦で優勝(奥田八十歳、松下七十七歳)、対戦した中には、岡山出身の今井芳夫(七十七歳)、対戦した中では、岡山前中雄務、午後二時三十分付で練習したが、当時各企業がスポーツ選手養成に励んでいた時代、三年間日本選手権保持者として活躍した強者を倒したのだから満足されました。

そのころ、スポーツ雑誌にでも掲載されたのが、中学、高校のスポーツ担当の先生が来訪してコーチを依頼され、各学校で二年間、コーチを、男子校二校が異業種、また羽場公民館長に頼まれ婦人部三十名余のコーチとして、婦人部員が上手になるのを余さんだ。

今、思い出せば、健康第一、皆様をはじめ国鉄での思い出、感謝一杯八十八歳ありがと。

蟹江町の散策

蟹江支部 東昇

JR東海のホームページを見て、今春のさわやかウォーキングを知った。

蟹江駅を起終点(歴史と桜満開の蟹江町めぐり)コースが、はじめて開催されたのを見つけた。早速資料集のため蟹江町産業文化会館、JR蟹江駅、近鉄蟹江駅、蟹江町役場を訪ね、とても分かり易い各種案内資料をもらった。

三月五日(日)を皮切りに、一日一万歩をベースに二日間、二時間づつコースをランダムに散策した。やはり啓蒙とほくしたもので、体の奥底からほら春だ、春だと活動開始のホイッスルが鳴り、どうしようもない衝動にかられ実行に移した。沿道にはタンポポ、河川には鴨が、土手にはすずめたちが餌を啄んでいた。

ウォーキングは、一般コースとファミリーコースがあり、四月五日の当日、蟹江支部のメンバー四人が、蟹江駅に八時三十分集合した。我々はファミリーコースの二時間三十分を選択し、九時に蟹江駅をスタートした。

コースは、JR東海の標識がしっかりと標示してあり、我々は迷うことなく八、七キロを三時間かけて歩き切った。

各所には、町のボランティアガイドの人たちが、また地元の人たちが茶碗の振る舞い、鮎のプレゼント、手作り弁当の販売、物産販売など地域の協力もつかりしていた。

歩いた後の気分は、爽快感でいっぱいだった。平日頃の歩行習慣が大いに役立ち、またチャンスがあれば挑戦したい。皆さんも如何でしょうか？

年齢を重ねるに従い、歩くことの大切さが身に

しみます。誘い合って大いに歩きましょう。自分の健康保持のために。

マルスト

「みどりの窓口」の……回想

浜松支部 大島照一

昭和六十二年四月一日にJR各社が発足して以来今日まで、各社は数多くの新しい施策を展開し、お客様から親しまれ、高い評価を受けている。

中でも今日では、当たり前すぎるほどの存在である「みどりの窓口」は、JRのシンボルであり、大きな誇りでもある。

係員がお客様の要望を聞きながら、タッチ式のモニターを素早い手さばきで操作する。するとホストコンピュータと交信、数秒後には乗車券類が印刷されて出てくる。これは、熱い思いで取り組んできた、当時の想いと重ね合わせると、夢に描いた構想に近い現実であり、当時のことが甦ってくる。

「みどりの窓口」が開設されたのは、昭和四十年十月一日であり、今年秋で四十四周年を迎える。それ以前は、コンピュータ処理による座席予約システムとしてのマルスト(MARST)は、幾度となく試行を繰り返し、昭和三十九年二月第一段階の営業稼働をした。

これは、いわゆるマルスト(1.0)である。昭和三十九年十月一日の東海道新幹線の東京・新大阪間が開業し、続いて歓声の盛り上がりつつあつた東京オリンピックが開催された。しかし、当初の新幹線

の座席管理は、技術的にも旧来方式の手作業に依らざるを得なくその結果、東京駅をはじめ各窓口が非常に混雑し、社会的にも大きな問題となり、その対応として、当時開発途上にあつた、新しいシステムの実用化が焦眉の急となつたのである。

その後、主要駅の窓口の整備も行われ、昭和四十年十月一日のダイヤ改正の時点から実用化にこぎつけ、マルスト(1.0)が稼働した。このような背景の中で記念すべき「みどりの窓口」が誕生し、全国の主要駅に設置され、オープンカウンター方式が採用された。

マルストとみどりの窓口との結合は、まさにこれまでの諸問題の解決に大きな役割を果たし、将来の発展にも大きな期待がかけられることとなつた。

一方、大阪での世界万博の後「ディスカバー・ジャパン」のキャンペーンの展開などが行われ、鉄道による「ふるさと再発見の旅」チームがおり、「美しい日本と私」のキャッチフレーズが好評を受けた。

昭和五十二年一月からは「一枚のキップから」さらに「いい日旅立」など出会いやロマンの発見をテーマとした企画「さらさら」でエキストラジャパンのキャンペーンなどが展開された。

マルストとみどりの窓口の開発は、その後も続いている。最近ではホテルの予約やレンタカーの予約、各種イベントのチケットの購入まで出来るよつになつていく。

平成十六年四月からは、座席予約システム「マルスト5.0」へとシステムを更新し、質量ともに拡充され活躍し、その役割がますます期待されている。「みどりの窓口」は、これからも、お客様に親しまれ、駅のシンボルであり、JRの誇りであり続けるものと確信している。

自動車事故に思う

西濃支部 澤邊邦雄

皆さんもお気付きのことと思いますが、毎日の新聞に交通事故、殊に自動車事故の載つていない日は恐ろしくありません。

私自身が運転しているだけに、自分が事故を起こさないように、注意はしているつもりです。

二年程前、友達と運転する車に乗せてもらっていた時に、その友達が赤信号に気付かず、突っ走ってしまったので驚いて今の信号は、赤だったと、注意したところ「さうだったかな」と本人は気がつかなかった様子でした。幸いに通行車はなかったので大事に至りませんでした。このことで、私と同年代の彼が、信号を意識しなかったことにショックを感じ、自分自身の運転も同じような、注意力の欠如が起き得るのではないかと考え、対策として運転中は信号機を指差して「信号よし」と唱呼することにしました。

これは鉄道公安に勤務していたときに、助行を指導していたこともありましたが、当時は交差点でも、「横断よし」と唱呼していたので、これも実行することにしていきます。

これを実行することにより、無意識な運転はしないし、同乗者（これは殆ど妻のみ）にも、安心感を与えていると思います。

後期高齢者ともなれば、注意力の減退は、誰しもが起き得ることと考えて、それなりに対策を考えるべきだと思います。

それでも事故は、絶対に起きないと、断言することには出来ません。

おやじの合唱

同僚支部 吉橋信夫

「おやじの合唱」と云うだけであって、男性ばかりの合唱団です。会員は二十五名、平均年齢七十四歳ですから驚きです。結成して四年になります。

先生は、若くて美人で指導力があり、時々「下手に出来ましたね」と声を掛けてもらうため、私達はすっかりその気になり楽しく唄っています。

先生が「おやじの歌」を作詞、作曲してくれました。その歌詞は

おやじの「お」おたかや今日も唄います

おやじの「や」病みつき合唱これほどはまるは

おやじの「じ」人生色々が楽しげりやい

音符もリズムもそんなの関係ない、楽しく唄いましょう。後続く……

五月三十一日多治見市民文化祭で、合唱の部のベテラン合唱団に混じって出演し堂々と唄い上げました。

一曲目は「おやじの歌パートⅡ」で、音符もリズムも関係ないなんて言ってはおれなくて、みんな一生懸命二部合唱で唄いました。二曲目は、「アメリカン・グレイス」三曲目は「また逢う日まで」を熱唱しました。

三曲目の際、昨年水戸黄門のパフォーマンスが大好評を得たので今年も思い、一番は団員と一緒に、一番から私一人でダンスを披露することにしました。

一番が終わると、早速礼服の上着を脱ぎ、持つてきたハンチングを被り、ダンスをしながらいち階段を降りて、曲に合わせて舞台いっぱい踊りました。

会場からは、笑いや拍手で大いに盛り上がり、終わると先生は優しく私の手を取り、一緒に舞台

挨拶をする、またまた大きな拍手が沸き起こり感激も一入でした。

八十五歳になっても、こうした大舞台で唄って踊れるなんて、本当に幸せだと思います。

また、八月三十日には多治見が日本一暑い市と云うことで、「あっちっちサミット」が開催され、その時ゲストとして、かの有名な青島広志先生のクラシックコンサートが開催され「おやじの合唱」も賛助出演することが決まっています。



▲元氣ハツラン「おやじの合唱」の舞台

シューベルトの「野ばら」と「ます」を二部合唱で唄うことになっています。この真夏の暑さにも負けずに只今特訓中です。

追憶

沼津支部 平松徳夫

父の務めの関係から、横浜の官舎で生まれた小生は、そこから人生のスタートをした。

平沼小学校へ入学し、都会の子であったので、学生服は半ズボンに黒のストッキング、ラシャの帽子姿であった。

国鉄の官舎は線路に面しており、昔は本数も少なく通過する度に、ガタン、ゴトンと線路の音がして、その響きが子守唄として育った記憶がある。

小さい頃は、遊び場所もなく機関車にあこがれた小生は、線路の真ん中で遊んでいて、母親が肝を冷やしたと言った話を聞くたび、自分がわんぱく小僧であったのではないかと思う。

ある時は、官舎の中に大きなイチジクの木があり、昇っている所を母親に見つかり門を閉められ、向いのお兄さんに謝ってもらった昔の思い出がある。

戦争が激しくなり、父も身体が弱いとこの事から、途中退職して両親の故郷に引き揚げたのが、小生三年の夏休みの夜であった。

沼津駅に着いた時は、横浜の時のイメージからほど遠く、母の実家に行くまでの道の両側は、田んぼで街灯もなく想像できないほどで、今では、昔の面影ないほど町も発展している。

父も機関士になり、一人前になって、途中退職を余儀なくされた気持ち、さそかし残念だったのだろ

うと思う。よし、自分も希望を持って試験に挑戦した。合格通知を受けた時は、これで父と同じ道歩む事が出来ると思いで発令を得ていたが、その矢先、国鉄は青函連絡船の事故等があったため、当分の間、発令しないとの連絡を受けた時は、落胆しにくじそうになったが、自分としては、一つの夢と希望を持っていたので、待ちに待ってようやく通知を受け取ったのが五月後であり、受け取った発令通知を見てびっくりした。

勤務は、品川客貨車区で出勤の際にム手袋、長靴を持参のことであった。国鉄にもこのような物が必要な職場があるのかと、半信半疑で出勤し始めて納得した。

仕事は客車の清掃である。その後、ようやく職場にも慣れ、臨時から雇用となったのは二年後、田町電車区に配属された。その時、職場の先輩の中に一五三系(新車)を手がけた人がいて、色々な車両の勉強に大きな影響を受けた。

ますます電車運転士にあこがれ、助手から運転士と色々な職種を経ながら田町、伊東と何回も転勤し、最後は国府津電車区の開業で転勤したが、資料が何もなく、毎日の仕事が業務資料作りから始まった。ふと、振り返って見た時は、退職を迎えていた。

今思えば、長くて短い国鉄人生であったと思う。ほっと一息ついてこれから何をと、あれこれと思っていた矢先、沼津支那の方から〇日知入会を勧められたが、自分は東鉄出身であり、知り合いがないのでとまどった。しかしその後〇日知入会し、今回初めて蒸気機関車の清掃に参加して、高沢町の公園に行くと、蒸気機関車を見て、歴史の大切さを引き継いで行くことが、我々の役目だと痛感させられた。

米寿を迎えて

三浦支那 稲垣時二

大正十一年二月十五日(一九二二年)生まれで満八十七歳、大正、昭和、平成と三代生き抜いてここに「米寿」を祝ってもよい年となった。

省みて、よくこの年まで生きてこれたものだ、つくづく思う。大怪我もなく、一度も入院するような大病を患ったこともなく、過ぎも来らず、とても若い時はとちらかと言えば、机にかじりついて仕事をしていた関係で體弱が弱く、京都の東寺から、胃の薬を送ってもらって飲んできたこともあった。それが、本人の養生と親がくれた体質でくれた両親に、改めて感謝している次第である。

二十年程前から、自分史を書いているが、第一部の表題は「一人生の底辺を歩いてきた男」とした。家が貧乏だったので、中学校へはやってもらえず、地元の高等小学校を卒業し、テッチ奉公の後、十五歳で国鉄に就職、五十五歳の定年まで三十九年余り勤務し、その間、便所掃除の備人、駅手に始まり、名教電信科卒業後、雇員となり出稼電、駅務、助役(庶務)と進み、最後の五年間は現場長を務めた。

刈谷の駅では、二十七年間在職したので、娘も息子も幼稚園から高校まで刈谷で卒業させ、この点では子孝行したと思っている。その恩返しにはないが、二人とも高校、大学は国公立を卒業し、当時薄給の親は随分楽をさせてくれ有りがたく感謝している。

国鉄在職中一番辛かったのは、福沢駅庶務助役の三年間であった。「生産生向上運動」現場協議制の最中で、中間管理職として毎日飛びまわり、重ねて妻を亡くすという私的な悲しみが有り、一

時はノイローゼ気味にもなり、いっそのこと国鉄を退職しようかと考えた。

この思いを止めてくれたのが、当時配車助役をしていた西塚氏である。「時さん、余りよくよ思い込むな、酒でも飲んで気を紛らわせよ」と駅前の居酒屋「おむすび」へ誘ってくれ色々助言された。以来居酒屋族となり立ち直ることが出来た。この余韻が、今も残る米寿を迎える身で、夜な夜な町の居酒屋に通っている。

「時は金なり」苦しい三年も過ぎ、中国の古い諺にある人間万事塞翁馬の通り、その後五年間幸田、大高、飛騨金山と無事現場を回り、昭和五十二年四月円満退職させてもらうことが出来た。

国鉄に籍を置いて、三年間の軍隊生活も人生の底辺だった。二十歳の初年兵は、毎日上官のピンタをくらい、九時の消灯ラッパがなり、暗くなった布団の中で、泣きながら豊頭を叩くはつたもの。外地(中国、北京、南苑飛行場)では、航空隊の自動車班で二年半勤務した。将校連中は、毎日将校集会所で酒を飲み、宴たけなわというのに、我々兵卒は竹槍訓練でしこかれていた。幸運にも終戦で、九死に一生を得て内地に帰還することが出来た。この点では、運の良い男といえるかも知れない。

国鉄を退職して、民間の会社で二十二年間働き、七十七歳の暮寿の年にサラリーマン生活を終え、現在に至っている。その間を、第二部として「余生を楽しく過ごした男」とした。

さて第三部はどうするか。「天皇陛下に二度面接した男」米寿と叙勲を喜ぶ男」思案中。

米寿を迎える年になり、今回、はからずも皆様のおかげで春の叙勲を頂いた。その折、皇居(春秋の間)で、陛下に拝謁お言葉を賜った。その前、今の天皇陛下が皇太子の時、植樹祭で下呂に御越しになり、その帰路、飛騨金山駅にて列車の窓越しに

お言葉をお返しした。これで、天皇陛下と二度にわた
りお会いした男となる。

さていよいよ人生の大詰めを迎え、残り少ない
余生をどう過ごすか、陛下の言葉「拳拳服膺」「長
い間ご苦労さまでした。皆さんも健康に留意して、
地域の為、皆さんの為に残り尽くして下さい」と……
どのくらい役にたてるのもが努力しよう。

ピアノ

静岡支部 片平雅之

我家の客間にピアノがある。娘が四〜五歳の幼
児であった時に、音楽に親しむことが良いと思い、
購入したものである。

それは子供の意志ではなく、親の考えからで、
ピアノ教室にも通わせその成長を楽しみにしてい
た。しかし七〜八年ほど経って気がつく、ピアノ
の上に物が置かれ、弾いている様子はない。妻に聞
くと、子供が嫌がるので止めたとの言葉が返って
きた。

その時は残念に思ったが、いつかは本人が弾きた
いと思うときが来る、狭い鉄道官舎にそのままに
しておいた。転勤の度に官舎も変わったが、その都
度ピアノを家財道具と一緒に運んだ。ピアノの送
料は、別料金であり経費もかかったが、いつかは自
分から弾くという言葉が出るのを期待していた。し
かし子供たちは独立して家を出て、ピアノだけが残
った。我家の一番目立つ所に、でんと鎮座していた。

私も、年齢を重ね、日本東海から関連企業に移り、
四年ほど前にそこを退職した。仕事の緊張から解
放され、解放感に浸ったのもつかの間、日が経つと
つれ何とも云えない虚脱感に拭い去れなかった。

このまま粗大ゴミになってしまおうかと思った。

そんな時、自分の近くにはピアノがあることを
思った。私も昔は音楽を職業にしたいと希望が
あった。しかし、ピアノが弾けなく挫折した。それ
は社会人となつてからは思考の外に置いた。

退職後考えた末、ピアノを習うことにした。それ
は楽譜を読んで、指で鍵盤を打つことで、ボケ防止
になるのではないかと、そう決める。何の躊躇もな
くピアノの教室に通うことに決めた。先生は音大
出の女性で、一児の母である。自分の年齢を言つて
「今からでもなにかかりますか」と聞く、「貴方
の意志だけで、頑張ればショパンも弾けるように
なりますよ」と言われた。

そして三年半近くが過ぎた。この間短期終了ハ
イエル教本「おとなのハノン」等を習った。しか
し余りにも覚えが悪く、先生がいらつくことも
あった。その都度九十歳になったら「ピアノリスト」
と言つて笑わせている。

未だに初歩的段階であるが、余り休むこともな
く練習しているし、教室にも通つている。

今年の二月、県立美術館ホールでピアノ教室発
表会があった。それは遊園寺四か月前程前、先生か
ら言われたが、発表会に出るとは思いもしなかつ
たので、最初は断った。しかし、同年齢の方もいま
す(先)と言われ出ることにした。

曲はマルティニ作曲の「愛のようごじ」を選ん
だ。そして四か月前この曲を集中して習い、何とか
弾けるまでになったと思つたが、本番では皆さんの
出来であった。途中何度か弾き直しして終つたが、
冷汗が出て顔も上げられない思いをした。

しかし、先生は「よかったですよ」と言つて慰め
てくれた。
こんな惨憺たる思いをしたが、今後も続けてい
たいと思つている。

病気は自分で治す

健康法に取り入れたらいいもの

静岡支部 平野利一

日本人は、本当にお風呂が好きです。三十九度く
らいのお湯にゆったり浸かる半身浴は、からだに
も負担がかからず、健康法としても有効です。交感
神経緊張の場合には血流がよくなくて、低体温の
解消にも効果があります。副交感神経優位のアレ
ルギー疾患の場合でも、血行がよくなれば炎症が
消える時期を早めることが出来るのです。

入浴で注意が必要なのは、熱めのお湯は交感神
経を刺激してしまふということです。健康な人な
らまつた問題はありますが、免疫力が落ちて
いる人は気を付けてください。

また、石鹸をつけてからだをこしこし洗うのも
よくありません。お湯に浸れば、それだけでふつ
つうの垢や汚れは落ちてしまふものなのです。「き
れい好きの行き過ぎは、ストレスになります」。

入浴のほかに、日常生活でこまめにからだを
動かすことも大切です。ふだん運動をしない人は、
軽めの運動や散歩を心がけるといいでしょう。

三十五歳年かけて進化して獲得してきた人間の
骨格や機能は、使わないと破綻を来すようになって
いるのです。

日の光を浴びながら、森林を散策するのも気持ち
がいいものです。植物が発散しているフィトン
チッドが、精神をリラックスさせる効果があるこ
とが知られています。森林浴後に、リンパ球が増
加していたというデータも報告されています。

(参考) 医学博士 安保 徹氏

短歌

ときたまに 逢えば昔の 笑顔して
 思い出語る つきることなし
 八月の 酒に立てば わだつみの
 声きこえくる 諸もろのこえ

津支部 岡 俊雄

バリカンで 頭をたかれ 傷の跡
 父のきびしさ 今も身にしむ
 水田と 売地を分けて 舗道あり
 黄色い幟が 買主を呼ぶ

中津川支部 細江 勲

盆も過ぎ 自然を肌 風教つ
 「もうすぐ秋よ」と 良人使が今
 朝早やに せきたてられし 啼く蟬の
 命惜しむか 初秋の風

釜田支部 鈴木さよ子

暮れ初むる 夏空背負ひ 檜木らは
 沈思のさまに 驕りを濃くす
 S Lも 焚火も遠し 写真なる
 モノク口昭和は 今も輝く

岡部支部 伊藤博司

俳句

静寂を まとぶ伊吹や 秋時雨
 赤とんぼ 憩ひし草と 共に揺れ

山梨支部 久保田かよ子

浮雲の 流れに揺らぐ すずきの穂
 汗ばみて 紅葉を愛でる 里の山

四日市支部 小川 勇

白鷺の 青田かすめて 飛びにけり
 夏蝶や 旧街道の 一里塚

浜松東支部 大倉照二

石山寺に 薫風 千年式部像
 梅雨あけや ホルンの響き 山開き

東海東京地本 藤田 敏

朝小雨 今日伊良湖へと メロン狩り
 急ぎ来て 少し汗ばむ 扇かな

春日井支部 秋田深子

川柳

師の教え 一句入魂 老いて今
 朱印帳 押す老僧の 力瘤

大府支部 藤井芳雄

鈍角の 意地を見せるか 正念場
 無理偏に 妻と書きたい 時もある

岐阜工事局支部 弓柄英二

余生欄 今日も二重丸で 過ぎ
 ゆとりある 暮らしも遠く 年かさね

富士宮支部 渡辺定善

六法も 聖書も不用 老いの意地
 四コマの 笑いで解けた 朝の影

美濃太田支部 三島次朗

ネジ巻けば 傘寿まだまだ 花が咲く
 平凡が好き 自己流に 悔いはない

伊勢支部 吉田国男

駅探訪

飯田線 中部天竜駅

ちゅうぶ てんりゅう かつ

●開業 / 昭和9年11月1日
●所在地 / 静岡県浜松市天竜区 佐久間町平場



浜松市の北部に位置し、北は水窪駅、東は野洲は天竜山、西は駒形に接し、赤石山系が南北に通なると高松、山田地区の一角にある佐久間(久間)からの「天州街道」(別名「東海道」)の交通の要衝として歴史ある駅であり、果たされた歴史の駅だ。

安曇郡のほぼ中央、中部にあって(8)と呼ばれていたのは、天竜川上流の徳州から採れた竹、た荷物、木材、食料等を下流方面へ運ぶための中継地としてきた。

三岐線(飯田線の前身であり私鉄4号の中の1号)の敷設として(安曇)の3が(飯田)の名を以て(中)天竜(天)と改称した(改)駅として、国有化の際には(中)天竜として呼称変更された。

戦後、ダム建設のための資材運搬場となり、対岸の津島駅まで踏切設備を残す前の1日駅構内に沿いの風景が、飯田線中央の深い宇雲の渓谷に、3年6ヶ月の費用(主)6,350万円の労務力を投入して建設された佐久間(久)完成当時、多くの観光客で賑わっていた。

駅構内の機関室を利用して、一時代を築いた往年の名車などを展示している「安曇開しルパーク」。かつて飯田線で活躍していた蒸気機関車を始め、数々の貴重な車両の展示内には、NゲージやFゲージを用いた鉄道模型ジオラマ、体験ミニチュラ、機関車展示コーナーなどがあり、大人が子供達を導き、1997年(平成9年)のオープン以来、多くの鉄道ファンに親しまれてきたが、今年11月18日の廃線に際して、閉園までには各種記念イベントを開催している。

駅へ西へ歩くと15分、松山公園へ、天竜川上流の渓谷にある五瀑の美しい風景園地から見える安曇の町並みと新緑が美しい。

みずみずしい緑豊かな川の流れに合わせて、自然の良さを「民泊」型の宿泊を今に伝える祭り「お宝庫」も遊覧をいつか再訪したい。

駅探訪は、JR東海の社内誌「おれんじ」8月号から抜粋し再構成したものです。

「会報への寄稿・投稿」要領

一「表紙写真」

会報「月〇日」とうかいの表紙に掲載する写真を、広く会員から募集しています。応募写真は、発行の季節にあつたもので「JR東海エリアを希望して下さい」。

写真は、カラーB5サイズ以上二枚、ポジフィルム、デジタルデータで結構です。お送りいただいたものうち、ポジフィルム、デジタルカメラデータは、後日返却します。

二「支部分だより」

〇日活動の原点は、支部のそれぞれの活動にかかっています。この欄では、各支部で行われている娯楽をはじめ、特色ある活動状況を、広く周知し、魅力ある支店、活力ある支部づくりを立てていきますので、是非投稿して下さい。テーマ、内容等は自由ですが、四百、五百字を目途にし、写真を添えて下さい。

三「読者のひろは」

会員からの「随筆、情報、体験談等」を随時受け付けています。テーマ、内容等は自由です。原稿は八百字以内で、必ず筆者の署名と一枚、また記事にちなんだ写真があればは添付して下さい。

四「投稿ページ」

会員及びご家族により親しんでみましょう。「投稿ページの欄」を設けました。家族或いは友達と一緒に、楽しい〇日

編集後記

会報第十九号の編集とお願ひ
既に短い夏が終わって、天高く清涼感ある秋となりました。会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

第十九号は、会員からの投稿が多く、その中には、会員としての「エネルギー」をまとめた、会報の「リニューアル」について、今年月々からの予定でしたが、内容の再検討し、皆さんのご意見、ご感想、ご要望を踏まえて、お楽しみにしてください。

「本報」を立ちあげ、本報の編集は、編集者の手によるものです。編集者の手によるものです。編集者の手によるものです。

編集者の手によるものです。編集者の手によるものです。編集者の手によるものです。

六「掲載要領」

寄稿又は投稿された作品は、順次掲載しますが、応募状況や紙面の都合、発行時の季節等を考慮するため、掲載が遅れる場合があります。お名前等は修正させていただきます。ご寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。

七「寄稿及び投稿先」

名三三の会報部 三三三三三
名三三の会報部 三三三三三

発行先

発行先 三三三三三
発行先 三三三三三